

難聴越えエイサー力強く 耳の日大会「天龍舞」が初舞台

読んで
温かい
NIE

3月3日の「耳の日」に
ちなみ、県聴覚障害者協
会は2日、那覇市の
県総合福祉セン
ターで第30回耳の
日記念大会を開いた。愛知
県の「楓」を運営する渡邊健
二さんが手話で講演した。



初舞台上で力強いリズムを刻んだ「天龍舞」＝2日、那覇市の県総合福祉センターゆいホール

難聴者でつくるエイサー
サークル「天龍舞」も初
めて演舞を披露した。
渡邊さんは、聴覚障が
いのある児童は住む地域に
友人がいないため、孤立し
がちだと話し、「手話で自
由に交流できる場所は
必要だ」と訴えた。楓で
は、手話ができる職員が
児童の宿題を見たり、工
場見学なども企画。児童
たちは悩みを話したり、時
には恋愛相談もする。
昨年11月に結成した天龍
舞は5曲を披露。大太鼓
と締太鼓のほかチヨンダ
ーも登場した。
リーダーの池原淳さん
（30）「沖縄市には「いろい
ろな障がいのある子供た
ちが夢に向かい、頑張るき
っかけになれば」と語っ
た。